



一芯 同体

なぜ?
必要?

どう言えば
伝わる?

ベトナム人リーダー育成研修では、ヒグチ鋼管株式会社を訪問し品質管理について学んだ。

「なぜ働くのか、なぜ今の仕事をしているのか」と問われて「私はこう考えてこういう仕事をしている」と「初心」を答えられる人は、日本人でも少ない。「初心」は自分が働く考え方の「芯」である。

芯を持っていないなら「芯」を作っていく経験ができるといい。そうすると、いろいろな困難があっても仕事を続けていける。仕事に対する考え方や倫理観、道徳性を学ぶ研修は、自分を振り返り、「初心」に気づく機会や「芯」を作る機会になる。(研修参加企業:津川製作所 津川礼至氏)

PREX ベトナム人リーダー育成研修とは？



この研修は2014年度にスタートし、2023年度に10年目を迎えます。

PREXがこの研修を始めたきっかけは、2012年ごろから、中小企業でも外国人の従業員を雇用するケースが増えており、現場や海外拠点を任せられるリーダー育成を要望される声を聞くようになってきたことです。

また日本企業で働く外国人社員の方からは、

**『指示されていることや注意されていることが、なぜなのかわからない』
『カイゼンや5Sに、なぜ機械を止めてまで取り組むのかわからない』**

という声がありました。

この研修は、外国人社員が日本企業で働く中で疑問に思うことや基本的なことを学べる研修です。そして、受講後、参加者は、活動の意味を自ら考えるようになることを目指します。

研修を受けて知識を得ることにより、ベトナム人社員の方の悩みが消え、

日々の業務に納得して取り組めるようになることを目指しています。

外国人に品質や改善のノウハウを教える研修はありますが、この研修は違います。

(研修講師 株式会社クリエーション 代表取締役 内海 政嘉 氏)





株式会社クリエイション
代表取締役 内海 政嘉 氏

**空気が読めない存在とみられ、
孤立するようになり、
とても悩んでいました。**

Episode **1**

・2022年度の研修に参加した大和合成株式会社のAさん

「新入社員として日本で働き始めました。もう一人の日本人の新入社員と比べて、私は自分が考えていることを相手に理解してもらるのが難しかったです。

このセミナーに参加して仕事の依頼の仕方がわかるようになりました。話を聞いていて、それまで理解できなかったことが理解できるようになりました。会社の理念は「プラスチックの可能性を提案する”ファーストコールカンパニー”になる」ことです。私は、お客さんからはじめに相談を受ける”ファーストコール社員”になりたいと考えています」

大和合成株式会社 部長 甲斐田 氏からのコメント

「Aさんは、コミュニケーションで困っているようでした。人の話を最後まで聞くことや、話をささげって自分のことを話さないように注意しましたが、なかなか難しそうでした。それが、この研修を受けて傾聴を学んでくれました。社内外の人がAさんに話を聞いてみようと思う存在になってほしいです。期待しています」

Episode **2** **実習生から 初めての工場長が誕生しました。**

・2022年度の研修に参加した株式会社三栄金属製作所のBさん

「この研修後、会社で3S活動、作業標準書の書き換え、カイゼン活動を進めました。カイゼン活動は、社内ですべてどこに何があるかわかりづらい状態だったのを要るものと要らないものに分け、置く場所を決めて、表示を作りました。3S活動や、作業標準書は、日本語とベトナム語で作成して全員がわかるように工夫しています」

株式会社三栄金属製作所 代表取締役社長 文 氏からのコメント

「Bさんは、ここで学んだことを活かしてくれ、今は、田島工場の工場長です。ここは昭和50年に建てた思い入れのある工場ですが、ベトナム人の社員の皆さんが働くようになり、変わってきています。ベトナム実習生と特定技能生が5人、日本人が4人います。その中でBさんは実習生から始まり、その後経験を積み、初めて工場長になった“実習生の鏡”です。

今は日本人社員もBさんの言うことを聞くようになりましたが、以前はBさんの言うことに文句を言ったり返事をしなかったりしたこともありましたが、今があるのは、Bさんの努力の結果だと思っています。私たちの合言葉は“皆で頑張ろう”です」

■経営理念とは何か、なぜそれが重要なのか



導入：研修初日には、オリエンテーションや課題設定を行い、参加者の現在の課題や問題意識に基づいて、研修で理解すべき切り口を設定します。研修の中核となる部分は、①経営理念、②カイゼン、③組織管理、④人材育成の4つをテーマとしています。一番の特徴は、講義だけでなく、体や手を動かして体験的に理解する演習、また、それぞれのテーマに応じた企業への訪問という組み合わせです。

写真は、愛と感動のビルメンテナンスの株式会社ベルを訪問した際の様子です。（「経営理念」の訪問先として）

■カイゼンと5S、品質管理の基本



座学で学習した内容が、実際の企業ではどのように実践されているのか、またそれぞれリーダー（経営者や幹部）がどのように考え行動しているかを現場で学びとることで、より深く理解することを目指しています。会社では、なぜ経営理念が大事なのか、なぜカイゼン活動をしているのか、ということをベトナム人社員の皆さんが十分に理解できる機会も限られると聞きます。この研修に参加し、理念や活動のもつ意味を考えてもらい、自らの目標をもってカイゼン活動にも取り組めるようになります。

写真は、全員参加による3S活動の株式会社山田製作所を訪問した際の様子です。（「カイゼン」の訪問先として）

日本企業で働くベトナム人社員が、リーダーとして力を発揮できるように、国内外の拠点の運営管理や、外国人の社員が理解しにくい日本企業の経営の根底にある考え方について学ぶ10日間の研修です。

■組織管理、給与だけに頼らないモチベーションづくり



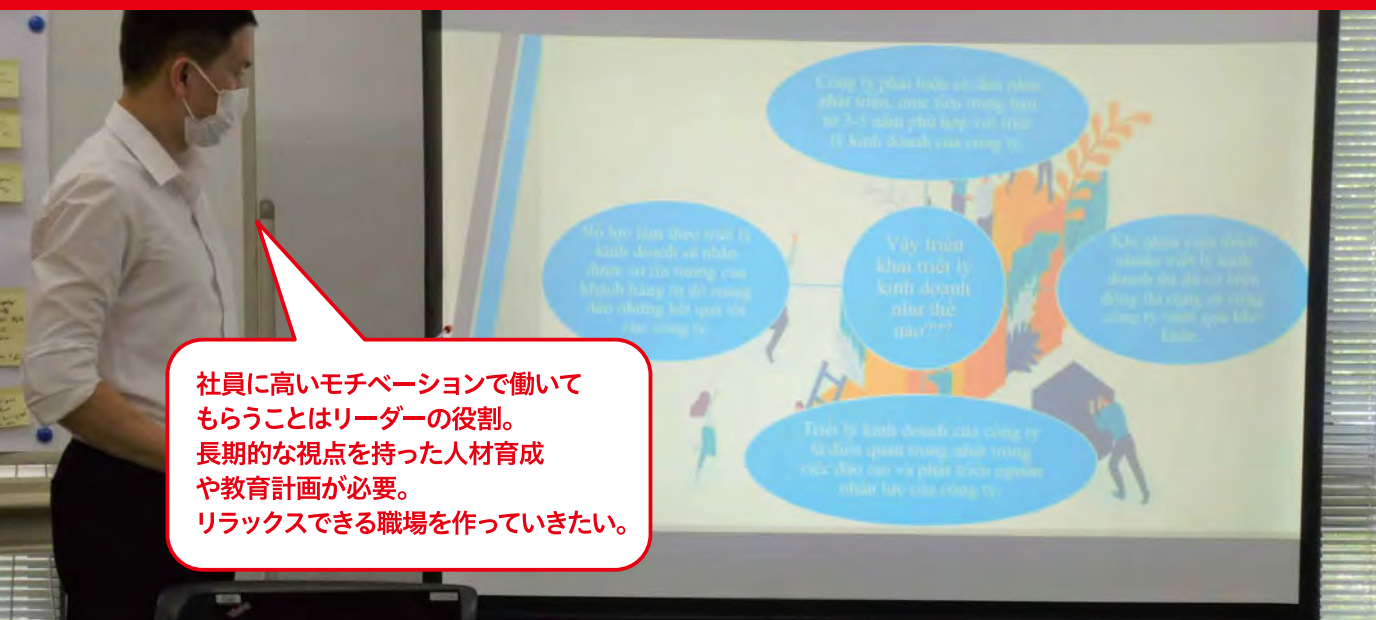
チームワークのメリット、大切さを十分理解した。
相談したり意見を出し合ったりして、問題を解決したい。

お金のためだけでは続かない。
目標達成には、プロセス管理が重要。
活動を評価しサイクルを回せるようにしたい。

また、すべてのプログラムに、ベトナム語の通訳を入れることで、ベトナム人社員の皆さんが安心して自分の課題や疑問について、確実に理解できることを目指します。また、研修期間中はPREXのスタッフが同行し、皆さんが安心して参加し学べる環境も提供しています。

写真は、全社員で5S・カイゼン・QCサークル活動に取り組む株式会社太洋工作所を訪問した様子です。
〔「組織管理」の訪問先として〕

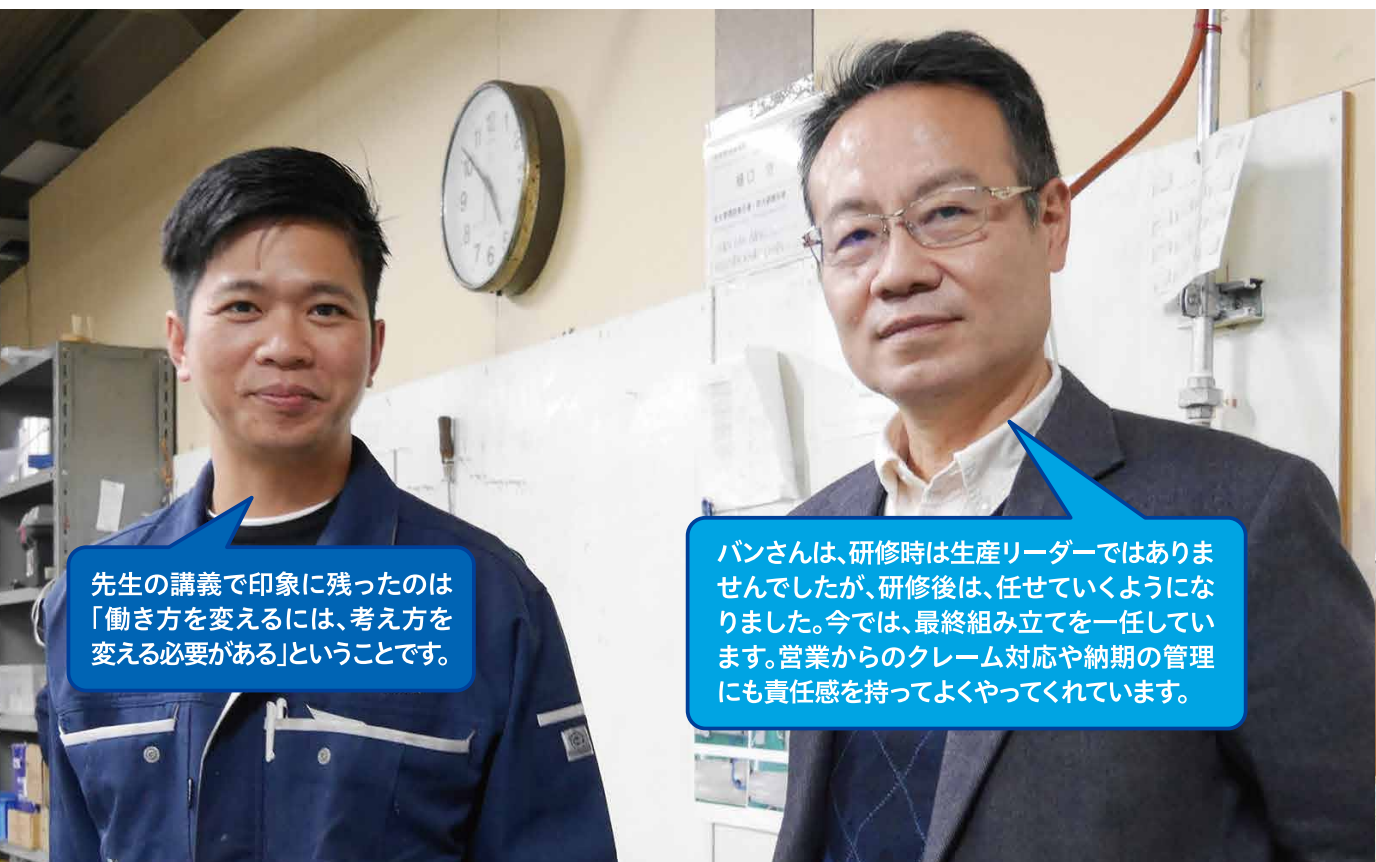
■企業における人材育成



社員に高いモチベーションで働いてもらうことはリーダーの役割。
長期的な視点を持った人材育成や教育計画が必要。
リラックスできる職場を作っていきたい。

最終日には、研修を通じて学んだことを確認・整理するとともに、今後の目標についてまとめます。そして、勤務先の上司や社長が参加する場で、研修を通じて学んだこと、また、これから取り組みたいことや抱負を発表します。研修参加者は、「経営についてベトナム人だけでなく全員に伝えたい」「カイゼンに真面目に根気強く取り組みたい」「自らの目標は自らが作る」「みんなのモチベーションを上げられるようリラックスした職場環境、創造的な労働環境を作りたい」等を発表してくれました。

写真は、研修最終日に、研修参加者が会社でのカイゼンや人材育成のアクションプランを発表する様子です。



先生の講義で印象に残ったのは「働き方を変えるには、考え方を変える必要がある」ということです。

バンさんは、研修時は生産リーダーではありませんでしたが、研修後は、任せていくようになりました。今では、最終組み立てを一任しています。営業からのクレーム対応や納期の管理にも責任感を持ってよくやってくれています。

なぜ研修に参加させようと思ったのですか？

株式会社津川製作所の津川礼至です。この研修はベトナム語で、実務ではない考え方、倫理観、道徳性や仕事観を理解してもらおうところがいいです。日本人向けに倫理観や仕事観を学ぶ研修は数多くありますが、ベトナム人社員向けはありません。仕事への考え方や道徳の考え方は、違いがあります。これを伝えることは日本語では難しいです。例えば、日本語で「固定観念を持ってはだめだ」という一文を伝えることがどれだけ大変か。長く働いている外国人は営業でもなんでもこなし、信頼できる社員です。私は、外国人だからこういう職種は無理という仕事はないと思っています。日本人も外国人も経験を積んでいけば、なんでもできるようになります。

研修に参加した皆さんは頑張っていますか？

採用して1年ぐらいで辞めてしまうベトナム人もいますが、研修に参加したベトナム人社員は、もちろん辞めていません。できる業務が増え、信頼できるので残業込みの給料に変えました。だからと言って5時に帰ることもなく、しっかりやってくれています。

●2020年にベトナム人リーダー育成研修に参加したAさん

過去に台湾で実習生として3年働いていました。ベトナムに帰ると生活が苦しく、次は日本に来ることにしたそうです。技能実習生では期間が限られるので、学生として留学したのが日本経済大学の私のゼミでした。私は、大学で多くの留学生に教えていますが際立ってまじめで優秀だった姿勢を評価し津川製作所で採用しました。今は、奥さんも子供さんも日本で一緒に暮らしています。日本で免許を取って車通勤です。小学校1年生の娘さんは、来日して1年で日本語をうまく話します。

●2021年にベトナム人リーダー育成研修に参加したBさん

日本に来たときは「ばく、たべる、ごはん」という感じで、日本語は片言でした。それが、1年たった時に日本語検定の3級に合格し、今は2級にも合格しています。

CADも使えませんでした。今は、どんな図面も書けますし、3D CADも使えます。東京での営業先との打ち合わせも一人で任せています。頑張り方が違います。



今はどんなお仕事をされていますか？

中農プレジジョンの社長のナムです。

2009年に入社し、2014年5月からベトナムに赴任しました。社長になって5年がたちます。同社は日系の会社ですが、管理職を含め40人のベトナム人が働いています。グループウェアで日本とのやり取りはコロナ禍でもスムーズに行っています。この辺で「厳しい会社」と思われていますが、この2年、社員は辞めていません。

ベトナムに赴任する前の2014年にPREXのベトナム人リーダー育成研修の立ち上げ時の講習に参加しました。今、このベトナム社で一緒に頑張っているリーさんも一緒でした。会社の発展における管理者の「心」についてより理解し、日ごろの考え方を省みる貴重な機会でした。

ベトナム社のメインの仕事は空圧機器、自動化機器周辺機器などの製造です。3交代や2交代で仕事をしています。国内と同様に素材調達から処理・組立まで対応ができ、日本と同じ品質の製品を提供できる点が強みです。

一番大切にしているのは「人」です。一人一人生活の状況や考えが違うので、一人一人をしっかり観察して、仕事をするようにしています。社員を信頼することは、お互いの関係を良くする秘訣です。

毎週1回月曜日は、全員で朝礼をしています。東大阪の本社と同じようにカイゼンにも取り組んでいます。社員は、あいさつもしっかりできます。ベトナム社をもっともっと大きな会社にできるように頑張っています。



＊2022年11月、PREX専務理事岡本と前田職員がベトナムのホーチミン工場を訪問しお話を聞きました。工場内ですれ違ったベトナム人社員の方が全員が日本語であいさつをしてくれました。整理整頓が行き届いていました。

＊インタビューの詳細はこちら→



NEWS & TOPICS

『一を聞いて、十を知る』ということわざがありますが、考え方や文化が違うグローバルな現場では一朝一夕にはいきません。外国人社員が何を考えているのか、会社が目指しているものは？その相互理解がないと業務はうまく回りません。皆さんぜひ一読を！PREXへのお問い合わせやご意見、「PREX NOW」への意見・感想をお待ちしています。
E-mail: prexhrrd-pr@prex-hrd.or.jp

ベトナム人社員の育成を 私たちPREXがサポートします。

国際交流部 佐賀です。
2023年度も「ベトナム人リーダー育成研修2023」(6～7月)、
「ベトナム人社員向け(オンライン)基礎研修2023」(11月)を実施予定です。
講師の説明は、ベトナム語通訳を介し、ベトナム語のテキストを用いて実施します。
日本語に不安がある方でも安心してご参加いただけます。
(参加費 有料。プログラムを選択してのご参加も可能)
オンライン研修には、関西圏以外やベトナムの工場など遠方からもご参加いただけます。
ベトナム人社員の皆さんがさらに成長できる場として、ぜひご活用ください。
詳しい内容やお問合せ/担当:佐賀・荒木 (PREX) vnseminar_pr@prex-hrd.or.jp



佐賀(PREX)



詳しくはこちら→

こんなサービスもあります！他機関の情報①

AOTSを活用した 外国人産業人材向け の日本語教育など



海外産業人材育成協会(AOTS)は、主に開発途上国の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業での経験を活かして、外国人向けの日本語教育、特に昨今多様化する外国人産業人材に特化した日本語研修も実施しています。同窓会をはじめとする海外ネットワークを活かした人材紹介事業も行っています。



詳しくはこちら→

他機関の情報②

「ボーダレスハウス」が目指す 多文化共生社会



「人種や国籍に関係なく、お互いのルーツや文化をリスペクトし合える差別偏見のない多文化共生社会」を目指して2008年に生まれたのがボーダレスハウスです。留学生を中心に外国市民が安心して暮らせる住まいと、共生していく地域コミュニティが一体化した「国際交流シェアハウス」では、異文化な環境での交流が、相互理解につながっています。



詳しくはこちら→

他機関の情報③

大阪外国人材採用支援 センターとは？



大阪府・市の共同事業として昨年スタートしたのが「大阪外国人材採用支援センター」です。中小企業における外国人材採用に関する様々な課題に対し、在留資格に基づいた支援機関と連携した支援を行っています。外国人材の採用について、相談からマッチングまでワンストップでサポートを行う外国人材採用専門の無料相談窓口として「はじめて外国人材の採用を考えている」「在留資格や手続きがよくわからない」などの様々なお悩みに対応します。定期的なセミナーや個別相談を実施していますので、ご活用ください。



詳しくはこちら→

PREX NOW第271号(2023年3月発行)
編集・発行:公益財団法人 太平洋人材交流センター
専務理事:岡本 譲
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
大阪国際交流センター2階 TEL.06-6779-2850
ウェブサイト: <https://www.prex-hrd.or.jp>
E-mail: prexhrrd-pr@prex-hrd.or.jp
企画制作:ユナイテッド・トゥモロー